

2022年5月10日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社
代表取締役社長 光行康明
(コード番号：3856 東証スタンダード)
問合せ先：管理本部長 田尾和也
電話：03-6864-4001 (代表)

都内中学校の生徒様への講習実施のお知らせ

先般、都内中学校の生徒様6名が来社され、当社グループのSDGsに係る具体的な取り組みについて講習・実演を行いましたので、お知らせいたします。

この度、ご来社の都内中学校では、総合学習の一環として、社会貢献、特にSDGsに積極的に取り組んでいる企業・団体の活動について、訪問学習を通じて、「どのようにしたら目標を達成できるのか」を探究されております。

本講習の冒頭には、生徒様から当社グループのSDGsに係る取り組みの勉強成果のプレゼンがあるなど、学習意欲を感じると共に、双方向のディスカッションを行うことにより、より深く当社グループの社会貢献活動やSDGsの取り組みをご理解いただく、大変有意義な機会と捉えております。講習中には、グループのWB株式会社が自社開発したポータブルバッテリー「楽でんくん」のデモンストレーションも行い、蓄電池の仕組みや被災時における有効な活用方法についても、説明を行いました。

本講習を受けて、今後は、学年発表や文化祭での発表等を行う予定と伺っておりますが、当社グループにおきましては、グリーンエネルギーの普及・促進のための啓蒙活動として、今後も学生の方等の会社見学や講習等にも積極的に取り組んでまいります。

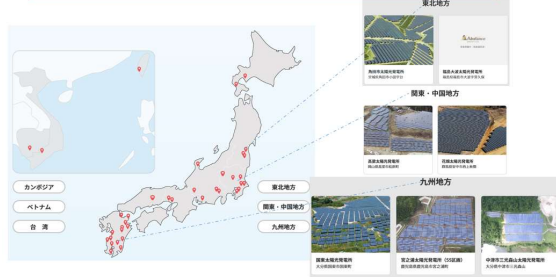
【当社グループのSDGsに係る講習のようす】(2022年5月6日実施)



【事例-SDGs7・13】

▼ 太陽発電による再生可能エネルギーの供給

- 当社グループでは、近年、脱炭素化のもとで高まる再生需要に応えると共に、安定収益の確保のため、太陽発電所の完工後も継続して保有するストック型のビジネスモデルを積極的に推進しています。
- 太陽発電所の開発エリアは、およそ全国をカバー。東日本エリアはグループのWVB、近畿・九州エリアは、主に、同じくグループのパローズが手掛けています。



▼ 【開発例】匠達メガソーラーシェアリング発電所

設備設置場所/千葉県佐原市飯沼（設備容量/1,000kW(1,198.2kWp)）
 モジュール/Monistar 単層型 115W(114.419枚) 1機作業/約32,000平方メートル
 ・発電開始日/2017年3月27日 総発電量/2.5万kWh

匠達メガソーラーシェアリング発電所

匠達メガソーラーシェアリング発電所は、農業地域経済の活性化に寄与する。注目のソーラーシェアリング(農業と太陽光発電の共生)を実現。農業従事者の収入向上に貢献。農業従事者の収入向上に貢献。農業従事者の収入向上に貢献。

【事例-SDGs9・11】



社会貢献活動

2011年東日本大震災を契機に、改めてグリーンエネルギー普及の緊急性を感した

WVB株式会社 建機事業

- 東洋経済 掲載より
- 東日本大震災時の福島第一原発事故の際には、大型コンクリートポンプ車の寄贈協力を行う。
- 62メートルポンプ車は当時、国内での高さ制限があったため、日本政府の許可を得て上海の港から福島へ搬送。



* 福島第一原発へのコンクリートポンプ車の寄贈協力（左写真）と、バングラディッシュのインフラ整備における日本 ODA 事業への建機供給（右写真）。

【事例-SDGs3】

コロナ禍のなか、マスクの無料配布



- 2020年3月
ヘルスケア分野の社会貢献
- 新型コロナウイルスの影響で、マスクが入手困難となっている状況から、天王洲ファーストタワー1階の連河側ラウンジを付添って、マスク無料配布を行いました。
 - 「ロックン」を填塞したマスクの方が、当日は早く配布完了となりました。

【SDGs5・8について】

▼ SDGsマッピング

